

2024 年 4 月 5 日、大塚のラパスホールにて開催された第 2 回「7 校の夜間定時制の存続を求める都民集会」に 61 人が参加しました。

以下、8 人のリレートークです。

(立川高校定時制同窓会) 10 年間、毎年署名を集めている。近くの床屋さんに署名をお願いしたら 50 筆集めてくれた。会合に参加するときは、早く行って署名をお願いしている。

(板橋の教育運動) 小中一貫校を考える運動をやってきたが、板橋では大山、北豊島工科の 2 校が廃校になるため、2 月 11 日の教育シンポジウムでは夜間定時制の廃校問題も取り上げた。存続を求める会を立ち上げ署名などに取り組みたい。

(夜間中学教員) 70 歳を超える人もいて葛飾商業定時制への進学を考えていた。夜間中学から夜間定時制へ進学する生徒は多い。ネパールやウクライナ出身の生徒もいる。昼間働いて夜学びたいと思っている生徒たちの進路先を閉ざさないでほしい。

(三鷹高校定時制卒業生) 20 年前の統廃合のとき「定時制を守る生徒の会」をつくって都教委に要請し、渋谷でデモも行った。国連子どもの権利委員会や東京弁護士会にも訴えたら双方から勧告が出された。

(小山台高校定時制卒業生) 中学のとき不登校だった。小山台定時制は自宅から通え、先生との距離感が近い学校で、不登校の私には良い居場所になった。自分が選んでここなら行けると思った。そういう選択肢をなくさないでほしい。高校時代がいちばん楽しかった。

(昼夜間定時制の教員) 午前、午後、夜間の三部制だが夜間部は 2 時 25 分から始まる。制服もあり頭髪指導を行っている。夜間定時制の受け皿にはならない。通信制もあるがこの 2 年間 100 人を超える希望者がいる。

(チャレンジスクールの教員) チャレンジでは小中の不登校経験者が 80～90% いる。試験や内申書がなく、申告書や作文、面接を行っている。3 年で卒業することも可能であり、倍率が高くなっている。

(夜間定時制の教員) 都教委は勤労青少年が減少したと言っているが、アルバイトなど働きながら学んでいる生徒が多い。貧困などいろんな困難を抱えながら学んでいる。小規模だから生徒全員の名前や状況がわかる。都教委は間違ったイメージを広げている。もっと夜間定時制の宣伝をすべきだ。

この後、会場から 5 人の発言がありました。

(葛飾区内の夜間定時制の存続を求める会) 葛飾商業が廃校になれば近くに商業の定時制はない。地元の見解が聞かれていないし、納得していない。葛飾区議会に存続を求める意見書を出すよう請願した。

(板橋の市民) 板橋では、3 月 8 日の北豊島工科の卒業式に門前で「北豊島高校存続」の訴えを行った。教員からも励まされた。4 月 10 日の大山高校の入学式でも行いたい。区議会でも取り上げたが、区教委は区内の中学卒業生の進路状況をきちんと把握していない。相談しながら、運動を盛り上げていきたい。

(共産の斉藤都議、白石都議)都議会で定時制問題について質疑に立った。都教委の調査でさえ夜間定時制の必要性(夜間定時制に通ってよかったこと＝自宅から近い、自分のやりたい勉強ができる、授業がわかりやすい)が示されているのに、それさえ無視して廃校計画を押し通すのは道理がない。給食費が無償になったことで、喫食率が100%になったとも聞いている。都教委は子どもの声を聞くべきだ。都議選でも争点にしたい。

(都留文科大学教員)学生が卒論で夜間定時制の問題を取り上げたので、夜間定時制について調べてみたが、その教育的意義を論ずる文献がほとんどないことに驚いた。なかには夜間定時制は歴史的役割を終えたとする論調もある。高校教育における夜間定時制の果たしている役割を論じていく必要があるのではないか。

(大崎高校定時制元保護者)息子は中学校で学校不信、教師不信となり、無気力になって「高校に行く意味はないから働く」と言っていた。しかし、エルムアカデミー(塾)から、「働きながら勉強できる夜間定時制がある」と聞いて大崎高校定時制を見学したら、いろんな人がいて、先生とも友達みたいに話しているのを見て、自分も行ってみようかと思うようになった。4年間で、学校不信も教師不信も取れ、今は通信制高校の教師をしている。いつからでも学び直すことができ、自分で決めることができるのが夜間定時制の魅力。なくさないでほしい。

リレートーク、会場発言を受けて太田政男さん(大東文化大学元学長)から以下のようなコメントがあった。

1960年代から高校進学率70%台に上昇し、「すべても若者に完全な中等教育を」の課題が提起された。その課題は、現在の課題でもある。新自由主義の教育政策によって貧困や格差などの社会的矛盾が生み出されている、夜間中学や夜間定時制の役割はその社会的矛盾に応えることにある。現在、通信制への進学者が増加し、11人に1人が通信制で学んでいる。しかし本日の集会でのみなさんの発言にあったように、夜間定時制には、少人数、通いやすい、多様なひととの触れ合いといった教育的な意義がある。少人数を廃校の理由にしてはならない、夜間定時制を守るたたかいは新自由主義政策に抗する運動であり、社会を変えていく運動でもある。

その後、7校の夜間定時制の生徒募集停止の撤回を求めるとともに、その存続を今後も強く求めているというアピールを採択し、今後署名を広げるなどの存続運動を強化する行動提起があり、熱気溢れる集会は閉会しました。

会場に署名を持参する方が多く、昨日現在、署名数は5,935筆になりました。

集会でお願いしたカンパは5万7198円でした(1万円のカンパもありました)。